

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果(岡部西小学校)

平均正答率

自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

	国語	算数	理科
岡部西小	下回った	下回った	上回った
埼玉県	68	58	58
全国	66.8	58.0	57.1

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値(単位 %)

	質 問 事 項	岡部西小	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	100	94.3	93.7
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	90.9	83.9	81.9
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	93.9	91.9	91.0
学習習慣	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている	90.9	84.8	81.7
	学校の授業時間以外に、普段1日当たり1時間以上、勉強をする(学習塾や家庭教師、ICTを活用して学ぶ時間も含む)	21.3	25.6	24.9
	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強をする	45.5	49.0	47.1
	学校の授業時間以外に、普段1日当たり30分以上、読書をする	45.5	31.9	31.1
教科への関心	国語の勉強は好きだ	72.6	59.3	58.3
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	90.9	92.1	90.4
	算数の勉強は好きだ	87.9	58.7	57.9
	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	94.0	93.0	91.6
	理科の勉強は好きだ	87.9	81.4	80.1
	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	87.9	81.7	79.9
主体的・対話的な学び	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	93.9	84.7	80.3
	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	75.7	75.7	68.6
	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	94.0	82.8	77.8
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができた	93.9	87.9	84.9
その他	自分には、よいところがあると思う	84.8	88.5	86.9
	将来の夢や目標をもっている	94.0	84.7	83.1
	人の役に立つ人間になりたいと思う	97.0	96.8	96.4
	人が困っているときは、進んで助けている。	100	95.1	93.7

【質問紙分析】

- ・ 県や全国の値と比較して、ほとんどの項目で上回っている。
- ・ 国語や算数を「好きだ」と答えた児童は、国語で 15%程度、算数では 20%程度全国より上回っている。
- ・ 「主体的・対話的な学び」は上記の 4 項目全てで上回っている。

全国の平均正答率と比較して大きく上回った問題○と課題のある問題●とその理由

【国語】

○**2**二

出題の趣旨は、「図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる」であるが、業前活動(スキルアップ)で校長講話などを活用した条件作文に取り組み、自分の考えを書く機会を定期的に設けたことで、表現する力が付いてきたと考えられる。

○3三(2)

出題の趣旨は、「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる」であるが、無回答の児童が少なく、週末の学習課題で行っている「読売こども新聞」の取組の成果が出始めていると考えられる。

●**2**一

出題の趣旨は、「書く内容の中心を明確にして、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができるかどうかをみる」であるが、伝えたい中心を明確にして、内容のまとまりごとに分けて書いていることを捉えられていない児童がいると考えられる。

●**3**二(2)

出題の趣旨は、「事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるかどうかをみる」であるが、叙述を基に、書き手がどのような事実を理由や事例として挙げているのかに着目できていない児童がいると考えられる。

【算数】

○**2**(3)

出題の趣旨は、「角の大きさについて理解しているかどうかをみる」であるが、多くの児童が、角の大きさを辺の開き具合と捉えることができている、授業や業前学習等での補充的なプリント学習の習慣化により、基礎的な知識の定着が図れていると考えられる。

○3(4)

出題の趣旨は、「異分母の分数の加法の計算をすることができるかどうかをみる」であるが、通分の知識が身に付いている児童が多く、習熟度別の少人数指導による個々に応じたきめ細かい支援により定着が図れていると考えられる。

●**2**(4)

出題の趣旨は、「基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言

葉を用いて記述できるかどうかをみる」であるが、面積を求めるために必要な長さ等の情報を選び出し、筋道を立てて説明できていない児童がいると考えられる。

● 3 (2)

出題の趣旨は、「分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる」であるが、共通する単位分数を見いだせていない児童が多く、見いだせた児童でも異分母分数が単位分数の幾つ分にあたるかを理解できていない児童が多いと考える。

【理科】

○ 2 (3)

出題の趣旨は、「電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることの知識が身に付いているかどうかをみる」であるが、電磁石の強さと巻数の関係を正しく捉えられていて、日々の授業を少人数で実験するなど工夫することで、確実な定着が図れている結果だと考えられる。

○ 4 (2) エオ

出題の趣旨は、「水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解しているかどうかをみる」であるが、学習内容を日々の生活と関連付けて捉えられるよう、教師と児童が意識して学習することで、表面的な知識だけでなく概念的に理解できていると考えられる。

● 3 (4)

出題の趣旨は、「レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することができるかどうかをみる」であるが、必要な条件を選択できているものの、疑問を示す趣旨での表現になっておらず、見いだした問題の内容を適切に表現することに課題があると考えられる。

課題への取組・改善策

【国語】

- ・ 全校朝会での校長講話などを活用した条件作文への取組（朝活動）
- ・ まず原稿での文章表現の決まりや条件の読み取り方と表現方法の指導（授業、朝活動）
- ・ 言葉の特徴やきまりの理解や使い分けを目的にした補充問題への取組（授業、朝活動）

【算数】

- ・ 自分の考えを文章表現する場合の表現方法についての指導（授業、朝活動）
- ・ 算数科としての表現方法やきまりなどの指導（授業）
- ・ 各単元での基礎的な学習内容の定着の徹底（授業、朝活動）
- ・ 習熟度別の少人数指導を活用した、習熟の度合いに合わせた個への指導の徹底（授業）

【理科】

- ・ 問題解決の過程を意識し、児童一人一人が問題を解決できる力の育成（授業）
- ・ 少人数での実験を大切にし、一人一人が実感を伴った理解ができるような指導（授業）